

1 社会・治安情勢

当国では在留邦人が多数居住するルサカ市を取り囲むようにコンパウンド(貧困層地区)が存在し、殺人事件などの凶悪犯罪が発生しやすい傾向にある。貧困率は依然として高く、特に首都ルサカ市、リビングストーン市観光地区、コッパベルト州の主要都市等を中心に失業者やエイズ孤児等が溢れており、貧困に起因する犯罪が後を絶たない。

2 一般犯罪・凶悪犯罪の傾向

(1) 在留邦人が多数居住し比較的安全とされているルサカ市においても銃器を使用した複数犯による住居侵入強盗、車両強盗、路上強盗が断続的に発生しており、特に、夕方から深夜にかけての犯行が多い傾向である。また、日中であっても人の集まる所では、スリや置き引きなどが発生している。

(2) 邦人被害事案

ア 1月18日深夜、南部州モンゼ市の在留邦人宅において自宅敷地内に置いているインバーターバッテリーが盗まれた。被害者宅には警備員は配置しておらず、被害当日、被害者は家に居たが風音等により気づかなかった。

イ 1月22日14時頃、ルサカ市PHI地区において、在留邦人宅で空き巣に遭う被害が発生。幸い、外出中で不在のところ怪我等の被害は無いが、電化製品等65万円相当及び現金2万円相当が盗まれた。被害者宅には警備員の配置はなく、自宅にはバーグラバーが破壊された痕跡があり、集合住宅の隣人が発見し通報した。

(3) 邦人以外の被害事案

ア 1月18日深夜、リビングストーン市ダンプワ地区において子女暴行殺害事件が発生した。22才のザンビア人女性が被害に遭い、犯人は逮捕されていない。リビングストーン市は邦人も多く訪れる観光地である。

イ 2月22日、ルサカ市チランガ地区において2名が被害に遭う子女暴行殺害事件が発生した。16才と22才の女性は暴行後、殺害され畑に放置されていた。犯人は逮捕されていない。

3 テロ・爆弾事件発生状況

当該事件の発生は認知していない。

4 誘拐・脅迫事件発生状況

当該事件の発生は認知していない。

- 5 日本企業の安全に関する諸問題
関連情報なし